



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ 上場取引所 東  
コード番号 3936 U R L <https://www.globalway.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名)各務 正人  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CISO (氏名)伊藤 享弘 T E L 03(5441)7193  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 2,757	% 32.0	百万円 34	% —	百万円 40	% —	百万円 20	% —
2025年3月期第3四半期	2,088	16.3	△382	—	△398	—	△366	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 20百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 △418百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 0.57	円 銭 0.56
2025年3月期第3四半期	△10.06	—

(注) 2025年3月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 1,846	百万円 1,239	% 41.0
2025年3月期	1,772	1,175	40.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 756百万円 2025年3月期 716百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 3,750	% 22.1	百万円 142	% —	百万円 141	% —	百万円 54	% —

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) TimeTicket GmbH

(注)詳細は、添付資料7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	36,566,450株	2025年3月期	36,431,650株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,261株	2025年3月期	4,261株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	36,489,969株	2025年3月期3Q	36,419,230株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2026年2月13日(金)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

わが国経済は、アメリカの関税政策の影響が続く中、雇用・所得環境の改善に伴い緩やかな回復基調で推移しました。一方で、円安の進行や物価上昇の継続により個人消費の下振れ、ウクライナや中東なども地政学リスクの高まりなど依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内の経済においては、少子高齢化や人口減少による労働者不足と国内市場の縮小や設備投資の低迷による生産性の停滞などが大きな課題となっておりますが、労働生産性の向上の改善策の一つとして、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進によるIT投資需要が高まっております。

このような環境のもと、当社は「人」と「技術」を新しい時代のために」を経営理念とし、「人々や企業から最も信頼される存在を目指して」をビジョンとして、人々の幸せや企業の成長をあらゆる技術の追求により最大限実現し、新しい時代において、最も信頼される存在を目指しております。

当社グループにおいて、デジタル・ソリューション事業では、クライアントの積極的なシステム投資やDX化を支援すると同時に、エンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大に取り組み、キャリアイノベーション事業では、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組み、シェアリング事業を行う株式会社タイムチケットは、個人が個人に対してスキルを販売するマッチングプラットフォームを開拓するスキルシェア事業、経営課題の解決を支援するコンサルティング事業、TikTok代理店活動などを行うライブエンターテイメント事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,757,774千円（前年同四半期比32.0%増）、営業利益は34,919千円（前年同四半期は営業損失382,604千円）、経常利益は40,126千円（前年同四半期は経常損失398,688千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,812千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失366,490千円）となりました。

なお、当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分していましたが、「プラットフォーム事業」と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様に当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて算出しています。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① デジタル・ソリューション事業

デジタル・ソリューション事業では、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を支援するため、基幹業務システムを活かしつつ最適なクラウドソリューションを組み合わせたデジタルプラットフォームの構築や、SalesforceやHubspotなどのクラウドソリューションやAIソリューションの導入支援を通じて、クライアントの業務改革を総合的にサポートしております。加えてITコンサルティングサービスを提供することで、DX戦略やAI活用戦略の立案やDXプロジェクトのプロジェクト管理支援（PMO）を提供しております。DX戦略、要件定義といった上流領域から運用・定着化支援まで一貫して提供しています。

また、これらのサービス提供力の強化に向けて、コンサルタント・エンジニアの採用・育成にも注力し、技術的ケイパビリティの拡大を継続しております。

サービスの特長として、「システムや業務の全体設計」や「クラウド基盤やSalesforceの導入支援」を通じて、「開発・運用・定着まで一貫サポートを実施しております。

当第3四半期連結累計期間においては、プロジェクト管理が堅調に推移したことやソリューション拡大による営業活動の拡大や人材採用が進んだことが功を奏し、順調に推移しました。

以上の結果、デジタル・ソリューション事業の売上高は1,079,139千円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益は227,836千円（前年同四半期はセグメント損失58,707千円）となりました。

#### ② キャリアイノベーション事業

働く人々のキャリア形成を支援する総合的な人材サービスを提供しています。企業の年収・評判・面接体験などの口コミ情報や求人情報を掲載する情報プラットフォーム「キャリコネ」などのメディアサービスを展開する一方で、外資系・IT・コンサルティング業界を中心に、ハイクラス人材を対象とした有料職業紹介サービスを提供しています。これ

により、求職者にとっては信頼性の高い企業情報の取得から最適な転職機会の獲得まで、企業にとっては優秀な人材への効果的なアプローチまでを、一気通貫で支援するキャリア支援事業を推進しています。

当第3四半期連結累計期間においては、外資系IT企業・コンサルティング企業をはじめとしたハイクラス人材紹介で売り上げが堅調に推移しました。また、前期から引き続き「キャリコネ」にかかるSEO対策を実施し、売上の回復傾向の兆しが見えてきました。また、情報プラットフォーム「キャリコネ」を通じて継続的に、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、キャリアアイノベーション事業の売上高は403,821千円（前年同四半期比11.1%減）、セグメント利益は75,952千円（前年同四半期比221.1%増）となりました。

### ③ シェアリング事業

当社のグループ会社の株式会社タイムチケットが、個人の時間を売買できるサービスである「TimeTicket（タイムチケット）」、法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスである「TimeTicket Pro（タイムチケットプロ）」を運営しており、「TikTok Live代理店」、経営課題の解決を行うコンサルティングサービス「CRiPTコンサルティング」を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、「TikTok Live代理店」におけるTikTokライバーの獲得が目標値を大きく超過し、また、「CRiPTコンサルティング」における案件の受注獲得も順調に推移しました。

以上の結果、シェアリング事業の売上高は1,302,173千円（前年同四半期比111.3%増）、セグメント利益は15,431千円（前年同四半期はセグメント損失7,904千円）となりました。

## （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ74,381千円増加し、1,846,887千円となりました。これは主に、その他の流動資産の減少が116,405千円あった一方、投資有価証券の増加が118,909千円、現金及び預金の増加が53,175千円、仕掛品の増加が22,231千円あったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ10,277千円増加し、606,892千円となりました。これは主に、短期借入金の減少が115,000千円あった一方、買掛金の増加が77,944千円、その他の流動負債の増加が29,092千円、未払消費税等の増加が21,489千円あったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ64,104千円増加し、1,239,995千円となりました。これは主に、資本金の増加が10,469千円、資本剰余金の増加が10,469千円、利益剰余金の増加が20,812千円、非支配株主持分の増加が18,658千円あったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における連結業績予想は、2025年5月20日に「2025年3月期 決算短信」で公表した業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	559,007	612,183
売掛金及び契約資産	788,832	782,645
仕掛品	1,862	24,094
前払費用	62,789	79,009
その他	203,859	87,453
貸倒引当金	△15,075	-
流動資産合計	1,601,276	1,585,385
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	42,506	2,570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△42,506	△2,570
建物附属設備（純額）	-	-
工具、器具及び備品	38,845	34,792
減価償却累計額及び減損損失累計額	△38,845	△34,792
工具、器具及び備品（純額）	-	-
有形固定資産合計	-	-
投資その他の資産		
投資有価証券	119,968	238,877
関係会社株式	188	-
長期前払費用	1,438	1,583
その他	49,634	21,041
投資その他の資産合計	171,230	261,502
固定資産合計	171,230	261,502
資産合計	1,772,506	1,846,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	118,749	196,694
短期借入金	235,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	6,640	–
未払費用	63,564	60,125
未払法人税等	2,278	1,248
未払消費税等	2,805	24,295
前受金	19,627	40,844
賞与引当金	11,852	8,436
受注損失引当金	9,941	–
その他	126,155	155,247
<b>流動負債合計</b>	<b>596,615</b>	<b>606,892</b>
<b>負債合計</b>	<b>596,615</b>	<b>606,892</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>50,650</b>	<b>61,119</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,496,659</b>	<b>1,507,128</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>△836,697</b>	<b>△815,885</b>
<b>自己株式</b>	<b>△525</b>	<b>△525</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>710,086</b>	<b>751,836</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>△5,892</b>	<b>4,265</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>12,122</b>	<b>200</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>6,230</b>	<b>4,466</b>
<b>新株予約権</b>	<b>568</b>	<b>6,028</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>459,005</b>	<b>477,664</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,175,891</b>	<b>1,239,995</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,772,506</b>	<b>1,846,887</b>

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,088,554	2,757,774
売上原価	1,106,855	1,185,660
売上総利益	981,699	1,572,113
販売費及び一般管理費	1,364,303	1,537,194
営業利益又は営業損失(△)	△382,604	34,919
営業外収益		
受取利息	75	627
受取配当金	1,873	5,251
暗号資産評価益	–	37
持分法による投資利益	217	3,292
補助金収入	–	6,518
受取和解金	–	5,334
その他	1,904	1,640
営業外収益合計	4,070	22,702
営業外費用		
支払利息	397	1,699
為替差損	3,851	4,538
暗号資産評価損	11	–
投資有価証券売却損	7,668	10,972
解約違約金	8,000	–
その他	225	284
営業外費用合計	20,154	17,495
経常利益又は経常損失(△)	△398,688	40,126
特別利益		
子会社清算益	–	17,068
特別利益合計	–	17,068
特別損失		
減損損失	–	9,417
本社移転費用	–	26,628
特別損失合計	–	36,045
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△398,688	21,149
法人税、住民税及び事業税	1,693	1,248
法人税等合計	1,693	1,248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△400,382	19,901
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△366,490	20,812
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,891	△910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,004	35,052
為替換算調整勘定	2,804	△30,758
持分法適用会社に対する持分相当額	38	△3,481
その他の包括利益合計	△18,162	812
四半期包括利益	△418,544	20,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△371,580	19,047
非支配株主に係る四半期包括利益	△46,963	1,665

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったTimeTicket GmbHは、2025年6月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ10,469千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が61,119千円、資本剰余金が1,507,128千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	-千円	282千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	デジタル・ソリューション事業	キャリアイノベーション事業	シェアリング事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,057,564	440,302	590,687	2,088,554	-	2,088,554
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,057,564	440,302	590,687	2,088,554	-	2,088,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,572	13,987	25,537	41,096	△41,096	-
計	1,059,136	454,289	616,224	2,129,650	△41,096	2,088,554
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△58,707	23,655	△7,904	△42,956	△339,648	△382,604

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△339,648千円のうち△298,552千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	デジタル・ソリューション事業	キャリアイノベーション事業	シェアリング事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,079,085	394,292	1,284,397	2,757,774	-	2,757,774
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,079,085	394,292	1,284,397	2,757,774	-	2,757,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	54	9,529	17,776	27,359	△27,359	-
計	1,079,139	403,821	1,302,173	2,785,134	△27,359	2,757,774
セグメント利益	227,836	75,952	15,431	319,219	△284,300	34,919

(注) 1. セグメント利益の調整額△284,300千円のうち△256,940千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分していましたが、「プラットフォーム事業」と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様に当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	デジタル・ソリューション事業	キャリアイノベーション事業	シェアリング事業	計		
減損損失	279	-	-	279	9,137	9,417

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。